

平等は 違いを理解 してからだ

埼玉県所沢市 46 歳
笠原 芳典

《作品について》

安易に「平等」と表現していますが、男女には体の違いがあるように、国には国の文化・慣習の違いなどがあります。すべて同じが「平等」ではないと思いますので、それぞれの持つバックグラウンドをよく理解した上で、「平等」を定義し、それに向けて取り組んでいただきたい願いが込められております。

考えて 地球の気持ちと みんなのきもち

神奈川県逗子市 小学5年
梶川 木詩

《作品について》

みないふり きこえないふり もうやめよう

東京都杉並区 27 歳
柏木 梨奈

《作品について》

毎日自分の生活に追われて、自分からかなり遠い外のの大きな世界の現状についてまだ思いやれない日があります。外の世界の情報が自分に入ってきて、遠い国のことだからと見ないふり、聞こえないふりをするのは簡単です。SDGs の目標を達成するためには、一人一人の見ないふり、聞こえないふりをせずに外の世界で起こっていることに関心を待ち生活をしていくことが大切だと思います。

海を守り 未来へ繋ぐ 青い絆

神奈川県横浜市 33 歳
片岸 周

《作品について》

広大な海は世界中繋がっております。海を守りとは海洋環境の保護や生態系の維持が大切である事を強調しております。未来へ繋ぐは現在の我々の行動が未来の子どもたちに影響を与える事を示唆しております。持続可能な環境保護活動が求められます。青い絆は海の青さ(色)を通じて、海と人々、また国々との繋がりを象徴しております。共に守り育てていくことが重要であるというメッセージとしております。

また会える 思いを乗せて 再生へ

神奈川県鎌倉市 49 歳
加藤 顕子

《作品について》

3R を意識して、作ったもの、使ったものを分別、回収して貰い、また違う形で出会う事を待っている、という気持ちから生まれた川柳です。可燃ごみとしてエネルギーに、そして 3R で違う形としてまた手元に戻ってくる事を願っています。そんな想いを込めて。

見切品

地球もわが家も

笑顔なり

神奈川県茅ヶ崎市 小学4年
加藤 暖乃

《作品について》

私の家はスーパーに行くと、見切品コーナーを見に行きます。見切品はまだ食べられる物がお得になっていて私もお母さんもワクワク嬉しい気持ちになります。とてもおいしく食べられ笑顔になります。そして食品を捨てることがないのでムダにならずゴミを減らすことにもなります。食品を捨てるとその命を捨ててしまうということになります。海もきたなくなり地球温暖化にもつながってしまいます。見切品はまだまだおいしく食べられる物ばかりです。地球も私達も嬉しいのでいいことがいっぱいです。

カジメ手に 海の再生 願うエコ

東京都文京区 30 歳
金丸 彰秀

《作品について》

カジメの藻場作り体験を通じた、海の再生を願う心を川柳にしました。

ふるさとを 観光地へと まちづくり

埼玉県三郷市 22 歳
金子 由茄

《作品について》

先日、鹿児島県の祖父母宅に 12 年振りに訪れた際に、幼かった頃の記憶を懐かしむと同時に、子供の頃は気がついていなかった土地の魅力に大変感動しました。山や海、美味しい食材、自然と共存する生き物たち、それら全てが都会の喧騒を忘れさせ、全身でリフレッシュできる観光地でした。しかしながら、観光地としてはあまり人はおらず、閑散としていることに寂しさを感じました。そこで、「鹿児島の魅力を色んな人に知って欲しい」と思い、会社で色んな方に鹿児島の観光地を紹介したところ、「そんなにいい場所だったんだ！行ってみたい！」という反応が返ってきました。鹿児島での観光というとパツとしない印象ですが、少しでも多くの人に伝えて 1 人でも多くの方が鹿児島に訪れて欲しいと思い、この川柳に表しました。

気がつけば 四季がなくなる 温暖化

東京都渋谷区 47 歳
金丸 貴則

《作品について》

四季折々の自然や環境を未来へ残す為にも対策が必要であると思います。

エアコン消し 窓開けなでる 秋の風

埼玉県さいたま市 高校2年
加納 穂佳

《作品について》

夏の暑さで毎日エアコンを使っていると、秋になって外は涼しいのに、それに気づかずエアコンを使ってしまうことがあります。常に心の奥で自分の行動に対する地球への影響を意識して、わずかな効果だとしても省エネを実行することの大切さを伝えたいと思い作りました。また、地球温暖化によって極端に暑い日や寒い日が続くことが多くなっています。そういう時に、個人的にですが、例えば朝家を出るときに風が涼しかったりすると、自然の大切さが深く実感できたという体験がありました。これをもとに、自然の季節の移り変わり、そしてそれを感じることができる周りの環境を大切にして、守っていこうということも作品の中に込めました。

不用品 リメイクすれば 必需品

埼玉県朝霞市 50 歳
亀井 三津枝

《作品について》

衣類や装飾品など日常には不用品が溢れている。要らなくなった物をそのまま捨ててしまうのは簡単ですが、皆んなで捨ててしまうと地球がゴミだらけになってしまいます。何とか不用品を減らす努力をしたいと思い、この句にしました。試しに服類を生地や糸にして何か使ってみようと思います。

戦止め 知恵で防ごう 温暖化

神奈川県横須賀市 88 歳
河合 滋晴

《作品について》

戦争や紛争で、武器や軍用車両を作る知恵があるなら、地球温暖化を防ぐにはどうしたらよいか、皆で考えるべきだ。このままでは異常気象が当たり前の地球環境になってしまい安全に暮らせなくなってしまう。戦争を止める安全、温暖化を防ぐ安全、全世界の人が協力すれば必ず実現できるという思いで考えました。

おさがりを ほこらしく着る 中学生

神奈川県逗子市 48 歳
川上 裕美

《作品について》

買った洋服が、家族で大事に使われている。物を大切にしてほしい

あいさつと 吸殻拾い 笑み交わす

大阪府堺市 73 歳
川坂 雄行

《作品について》

たばこの吸い殻は川から海を汚染する。豊かな海を守るためにもポイ捨てをしない。ポイ捨てをそのままにしておくとしらにゴミ捨ても。あいさつは地域の輪をひろげる。災害の時の助け合いや防災にも役立つ。そして、あいさつが飛び交う地域は温かい。

大工の子

空き箱をおもちゃ

未来の木(気)つかい

神奈川県三浦郡葉山町 43 歳
川嶋 圭司

《作品について》

子が空いた牛乳パックを使っておもちゃを作りました。将来は木を使う職になればの願いと、モノを無駄にせず資源を大事にする気遣いを持ってほしいの2つの意味を掛けました。

会議にて コピー重ねて ムダ遣い

神奈川県横浜市 48 歳
川出 将広

《作品について》

会社内の会議で上司に提出するまたは皆に見てもらう為に、当たり前のようにたくさんのコピーをしてコピー用紙を使っているのが現状。これだけ PC も普及しているので、ペーパーレスな会議が出来れば紙の無駄遣いがなくなるのではないかと日々思います。

命運を 分けるごみ分け 心掛け

東京都世田谷区 38 歳
河野 喜幸

《作品について》

ごみをきっちり分別する一人ひとりの心がけが、地球の良い環境につながります。

ポイ捨ては 海によくない やめようぜ

神奈川県横浜市 小学4年
川畑 樹莉

《作品について》

なぜこの川柳にしたかというと、海や海岸、砂浜を見ていると、ゴミがたくさん落ちていて、汚れていることに気がつきました。夏休みに家族で海へ遊びに行った時にも、プラスチックのゴミや、ファストフードの持ち帰り用の袋などがたくさん落ちていました。海に遊びに来た人が、食べた後のゴミをそのままその場所に捨てているんだなと思いました。海の動物が、もしこのストローとかのプラごみを食べてしまったら大変だなと思いました。しかも、動画でクジラがプラごみを間違って食べてしまっていた様子を見て、心が傷みました。私は、クジラが好きで、その好きなクジラのお腹の中に、ゴミが入っていて苦しそうでした。人が海をこれからも楽しめるようにするためには、持ってきたものを持ち帰るなど一人ひとりの努力が必要だと思いました。

飲み物は 洗って捨てる 綺麗にね

神奈川県横浜市 小学4年
菅野 仁笙

《作品について》

僕が、この川柳を作ったのは、リサイクルがしっかりできていないなと思ったからです。リサイクルの学習を社会科の授業で学びました。社会科見学では、ゴミの焼却工場に行って、リサイクルがあまりできていない事実を知りました。ペットボトルなどが集められてすごい数があったのにも驚きました。また、もし海にゴミが行きついたら、海の生き物が死んでしまうかもしれないからです。そして、その魚を人間が食べてしまって体に良くないから、長生きも難しくなったり、健康ではなくなってしまうかもしれないからです。ポイ捨ては、絶対によくないと思ったし、ポイ捨てだけでなく、プラスチックごみの影響は、いつか人間に帰ってきてしまうから、プラスチックごみ自体を減らしていく努力をしないとはいけないと思いました。

甥 6 歳

「ヒーローになる」と ゴミ拾い

神奈川県逗子市 26 歳
喜多 しおり

《作品について》

ヒーローと聞くと悪者を倒したり戦ったりするイメージが強いですが、それだけじゃなくて人や生き物にやさしくしたりゴミ拾いしたりすることもヒーローなんだとまだ小さい私の甥が言った言葉を川柳にしました。大人になった今忙しい日々の中で忘れかけていた他人を思う気持ち、自然・地球を守るという事を思い出させてくれました。甥は今年お兄ちゃんになります。とてもたくましい背中で成長が楽しみです。

リメイクで 不要な服が エコバック

神奈川県鎌倉市 43 歳
北郷 恵美

《作品について》

着れなくなった服や着ない服を簡単に捨てるのではなくリメイクして形を変え使うことでゴミも減り役にも立ち、地球にもお財布にも優しい。

エコバッグ 目うつりして買い エコじゃない

神奈川県横浜市 小学5年
北村 陽大

《作品について》

多種多様な模様のエコバッグが見られるようになり、旅先でもご当地エコバッグを
買う母を見て思いつきました。

学び方 楽しむ工夫も グローバル

東京都渋谷区 43 歳
木村 恵子

《作品について》

先進国から途上国へ一方的な教育の提案ではなく、どの国でも学ぶことに楽しさがあると思うので、そのやり方を各国でお互いに交換し合えば世界全体の学びの質が上がると思うので。

ポイ捨ては 一度海行き 帰り来る

東京都渋谷区 小学6年
木村 裕斗

《作品について》

一度捨てたゴミを魚が食べて、それを自分たちが食べるのは、ゴミは捨てたら結局自分たちに帰ってきて、健康などに悪影響があることになるから気をつけようという思いがあります。

大丈夫？ 広げていこう 優しさを

愛知県名古屋市 26 歳
木村 レイア

《作品について》

私は昨年度通信制高校の教師をしており、その際に生徒たちが新しく入学した編入生へ「大丈夫？」と優しく声をかけている姿を目にしました。この優しさが周囲に広がり、他の生徒も次々と「分からないことがあったら何でも聞いてね」と声をかけていく様子に感動し、優しさが世界に広がったら争いなど起きないだろうなという思いを歌にしました。

もったない 夫はセコで、 私エコ

東京都練馬区 58 歳
京谷 健司

《作品について》

1970 年代以降の日本は経済が急速に伸び始めました。それに伴いゴミが増え、大きな社会問題になっていたが、ゴミ問題を先送りして経済の成長に着手した。現在その付けとなって世界問題の一つになっている。人々の意識を変えゴミを出さない社会を構築していきましょう。

リビエラや あありヴィエラや リビエラや

神奈川県横浜市 39 歳
草開 功太郎

《作品について》

2018 年に数多くのブルーフラッグビーチの認定を受けたリグーリア海岸一帯は、イタリアン・リヴィエラとも呼ばれている 19 世紀から続く著名なリゾート地でもあります。その土地と同じ名前を戴く株式会社リビエラに所属する人間として、2022 年にはマリーナとしてはアジアで初めてブルーフラッグを取得し、今年 2024 年には新たにもう一つのマリーナでもブルーフラッグを取得する事ができた事は大変に誇らしく、現場の方々の不断の努力と地域の皆様のご理解ご協力を賜れた事、環境保全や環境教育、持続可能なまちづくりを目指して「リビエラ未来づくりプロジェクト」を進めてきた結果が形として表れたのではないかという想いが溢れ返り、適切な言葉も思い浮かばず、このような安直な川柳となってしまった我が身の文才の無さには汗顔の至りであります。届いて欲しい、この想い。

富士山を 見ながら拾う ゴミと運

神奈川県逗子市 61 歳
楠原 淳代

《作品について》

富士山を見ながらのゴミ拾いも気持ちがいいのと、大谷選手のように幸運をつかみたい、と。努力なしではつかめませんね！

出刃包丁 ペティナイフと なりにけり

東京都新宿区 53 歳
久保田 隆弘

《作品について》

3 世代に渡って使われてる包丁。刃渡りはすっかり小さくなって、まるで果物ナイフのよう。研ぎ方とセットで受け継がれ切れ味は抜群。手の形が似ているせいもあってか馴染みも良い。「この包丁じゃないとこの味は出ないよね」と生意気にも言ってみたりする。想いも受け継がれている気がする

今もまだ 人々による ゴミいっぱい

神奈川県中郡大磯町 小学5年
熊澤 健

《作品について》

海や陸上でのゴミを回収する活動を推し進めたい。

夏休み

外が暑くて

家にいる

神奈川県鎌倉市 小学5年
栗原 駿太郎

《作品について》

気温上昇により、夏休みの日中外で遊ぶことが出来なくなって来ているので、その事を川柳にしました。

フェーズフリー 備えず備える 手抜キング！

神奈川県横浜市 54 歳
黒瀬 智恵

《作品について》

災害大国日本においては、絶対に安全と言える場所はどこにもありません。という事は、日本に暮らす限り防災は誰もが取り組まなければならない必須事項です。しかし、普段から有事の時だけに備えておくことはコスト的にも労力的にもサステナブル(持続可能)とは言えません。有事への備えを、いかに普段から当たり前のこととして取り入れるのが大事です。その時に知ったのが、「フェーズフリー」という考え方です。これは身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立つようにデザインしようというもので、それなら私にも出来る！ということで普段から心がけています。いつも使っている物を、もっとご機嫌(ウェルビーイング)に、そしていざという時も使えるものという視点で選んでおけば、いつか身の回り全てが有事にも使えるものに囲まれます！備えを意識しないで備えられるフェーズフリーは、防災にだけ特化しない「手抜きの KING」と思います！

今必要？ 部屋と頭の たな卸し

東京都大田区 38 歳
小泉 可奈江

《作品について》

食品や日用品、洋服など、購入後に帰ってみたら、同じようなものがまだ家にあったり、賞味期限内に食べきれない量だったりすることが、恥ずかしながら発生します。結局捨ててしまうことにもつながるため、食品を買うときはスマホにリストを作るなど、最近は気を付けています。また、洋服や雑貨を購入する際には 1 つ迎え入れるためには 1 つ手放す、ということも意識するようになりました。常日頃から家の中のたな卸しをしておくことで衝動買いを防ぎ、商品を手にとるときに『使う責任』を考えよう、と自身への戒めも含めた川柳にしました。

みんなで 守ろう 自然たち

神奈川県逗子市 小学5年
小泉 航輝

《作品について》

世話を受け 世話をしたのち 世話になる

神奈川県茅ヶ崎市 45 歳
小泉 悟

《作品について》

幼少期は親や大人に助けられて育ち、親となり子を育てた後は、また老後は人の支えを受けることになるので、人生は支えられる方が多いことを常に認識して、健康なうちは少しでも助けることをして、協力しあっていきたいと考えております。

温暖化

このままいくと

秋がない

埼玉県さいたま市 42 歳

小泉 徳弘

《作品について》

10 月・11 月になっても半袖で過ごせるぐらいの温暖化となっている日本。年々、気温が上がっていることを実感しています。未来にむけて、ひとりひとりが日頃できる節電やエコ活動をしていく必要性を感じながら書きました。

エスディージーズ 何も変わらん 茶番劇

神奈川県三浦郡葉山町 50 歳
小磯 亜紀子

《作品について》

SDGs は茶番だと思っています。誰ひとり取り残さないと言っている割に世界中には取り残された人々がたくさんいます。特にパレスチナ、そして、スーダン、コンゴ、未だに問題だらけで人権が踏みにじられ、人々は貧困と飢餓と恐怖に、不衛生な環境にさらされ、命の危険があります。しかし、日本で言う SDGs は主に環境面のことばかりが大きく取り上げられ、世界規模の不平等・不公正にはあまり目が向けられていません。ウミガメの鼻にストローが刺されれば悲しんで大騒ぎプラスチック削減をうったえ、でも、パレスチナ人の子どもが 16,000 人殺されても多くの人は爆弾削減をうったえることもなく平然と何事もなかったかのように暮らしています。今、ガザ内は、イスラエルの空爆と封鎖により、瓦礫とゴミの山と化しています。外に山積みになったプラスチックゴミはマイクロプラスチックと化して地中海に流れ込むでしょう。きれいな飲み水も手に入れるのは大変です。水道が破壊されているためペットボトルやプラスチックタンクに汲んだ水を飲むしかありません。パレスチナ解放なくして SDGs の達成もないと思います。

相撲取り 腹八分では 無理ですか

京都府京都市 79 歳
小坂 武弘

《作品について》

健康腹八分が一番いいんだが。

荒波も 波力発電 エコ電気

神奈川県茅ヶ崎市 51 歳
小佐部 智一

《作品について》

海に囲まれていて、海岸が侵食される位の力がある波力を電力に変えればエコだ
と思いました。

待ちに待った ボーナス全額 更新料

神奈川県横浜市 21 歳
小塚 みなみ

《作品について》

働きがいやモチベーションはいただくものが直結していると感じたため。

勿体無い 無駄をそう 先駆けて

東京都立川市 40 歳
小林 直人

《作品について》

未来に向けて無駄を無くすことが大切。他人ではなく自分から進んでやる必要がある。食べる物は、もちろんだが電気水道消耗品など全てについて無駄をなくす。

なつやすみ
ことしの方が
あつかった

神奈川県逗子市 小学5年
小林 春喜

《作品について》

つくろうよ 法が子供を 守る世界

神奈川県逗子市 小学5年
小林 結波

《作品について》

クラゲたち まちがえられる プラのゴミ

神奈川県藤沢市 小学5年
小峰 優里奈

《作品について》

学校の授業で動画を見て、海でたくさんのプラのゴミを、ウミガメがエサであるクラゲと間違えて食べてしまって死んでしまうのが、印象に残ったから川柳にしました。

自転車と 電車に乗ろう 出来るだけ

東京都墨田区 23 歳
近藤 智仁

《作品について》

個人で排気ガスをブンブン出して細々と運転をするよりも大量に乗車できる電車に乗って移動すれば生まれてしまうガスが減る。駅からは(レンタルや折り畳み等の)自転車に乗れば歩くよりも楽に目的地に着くことが出来る。海外で売っているような大きいキャリーケースを積める自転車が日本でも法的に乗れるようになれば、大荷物の人も車を使わずに済むと思っている。